

- 28 ひたひたと梅雨の晴間の泥の川
- 27 腰伸ばし又屈みては草引けり
- 26 聞くまでも無く昼餉には冷素麵
- 25 夏芝に足あとつけて風の道
- 24 成せばなる大志抱けと雲の峰
- 23 夏旅や白き観音見えて果つ
- 22 夕暮や遠音に蝉の声を聞く
- 21 鴨家族畦をよちよち夏盛り
- 20 昼食後手から本落ち三尺寝
- 19 バリバリにシーツの乾く梅雨の明
- 18 端居して洩れる本音を聞いてをり
- 17 工事場に小さき日除けの喫煙所
- 16 虫干会不断桜をゆらす風
- 15 あたまツンお喋り止まるかき氷
- 14 西瓜切るたちまち真中ひび走る
- 13 水引きて亀の子二匹岩の上
- 12 梅雨明けの川に白雲流れゆく
- 11 冷奴絹だ木綿だまず一献
- 10 水平線のろしめき立つ雲の峰
- 9 園児らの声の空飛びプールかな
- 8 濯ぎもの急ぎ取り込む入道雲
- 7 アスファルト溶けてタイヤに絡みつく
- 6 蓮の花日に日に増える死者の数
- 5 野牡丹の散りて広がる濃紫
- 4 太柱しかと爪たて蝉の殻
- 3 つまみ食ひしたき夏雲空の旅
- 2 梅雨明けの川沿ひすつきりチェーンソー
- 1 扇風機唸り仲裁してくれず